

| | | | | |
|---------|-----|----------|-------|----|
| 科目名・単位数 | 美術Ⅱ | (2) 単位 | 学習レベル | 標準 |
|---------|-----|----------|-------|----|

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| 学習目標 ① 美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにする。 ② 美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を育てる。 ③ 美術文化についての理解を深め個性豊かな美術の能力を高める。 | | | | |
|--|--|--|--|--|

| 学期 | 学習内容 | 学習のねらい | 提出物 |
|-----------------|---|--|--------------|
| 1 学期 (4月～7月) | 4月 美術オリエンテーション ～鉛筆デッサン～ ・鉛筆の使い方 | ・美術Ⅱの授業の内容について説明し、年間計画について理解する。 | 作品 |
| | 5月 ・基本形(立方体、円柱、球体) ・自分の身近なものを描く | ・基本形の構造を理解する。(立方体、円柱、円錐、球) ・光と明暗、調子の関係を理解する。 ・立体感、及び存在感を表現する。 | |
| | 6月 ～デッサンの魅力をさぐる～ ～人物のデッサン～ クロッキー | ・対象を描写するだけでなく、形態の認識等観察する能力を養い、造形表現についての理解を深める。 ・互いがモデルとなり人物デッサンをする。形態や骨格、緊張感やムーブマン等を捉えデッサン力を高める。 | クロッキー |
| | 7月 ～人物を描く～ | ・人物画を通して、人間の持つ逞しさや美しさを表現方法を工夫し自分自身の表現を追求する。 | 作品 |
| 後期 (10月～3月) | 9月 アクリル画 10月 段ボールシートに描く自画像 | ・自己を見つめその内面性や存在感を多様な方法で表す。 ・スケッチを元に、素材を活かして自画像を制作する。 | スケッチ 作品 |
| | 11月 彫刻 ～木とスーパーリアリズム～ ～木彫透視図レリーフの製作～ | ・資源としての『木』と人間との歩みについて考え、木について学習しその魅力を引き出す方法を学ぶ。 ・人間の視覚像に近いといわれる「透視図」を応用、錯覚を利用して、平面的なものが立体的に見える「浮き彫り」(レリーフ)表現について学ぶ。 | 作品 |
| | 12月 陶芸 ～日用雑貨を作る～ | ・陶芸の素材である土の特性の理解を深め、基本的な造形技法を学び修得する。 | 作品 |
| 3 学期 (1月～3月) | 1月 絵画 ペン画によるイラスト テーマは各自で選択 | ・自由に発想し画面を構成し表現を工夫する。 ・漫画、イラストの表現方法を学ぶ。 | ワークシート 作品 |
| | 2月 人物、静物、風景、構想画、等 | ・基礎的技法を演習を通して理解する | スケッチ 作品 |
| | 3月 年間のまとめと鑑賞 | ・作品の講評、鑑賞をおこなうことにより、表現の大切さ、喜びを知る。 | ワークシート |

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| 評価の観点と方法 ① 美術に親しみ自ら進んで表現や鑑賞に取り組んだ。 ② 感じたことや考えたことから発想し表現する。 ③ 表現技法を高めたり、新しい技法を創意工夫する。 方法：作品の成績点、アイデアスケッチ等の提出物、授業態度、出席状況を総合的に評価する。 | | | | |
|--|--|--|--|--|

| | | | |
|-----------|--------------|-----|---------|
| 使用教科書・副読本 | 高校生の美術2 (日文) | 実習費 | 3,000 円 |
|-----------|--------------|-----|---------|

| | |
|--------|----------------------------------|
| 教材・道具等 | アクリル絵の具セット・ウッドモザイク・クロッキー帳・各種紙類。他 |
|--------|----------------------------------|